

随

想

愛知淑徳中学・高等学校での かけがえのない日々

愛知淑徳中学校に入学したのは
今から40年前。中高6年間の行事や
授業の数々は、大変な中にも、わく
わくする体験にあふれていました。
特に思い出深いのは学園祭です。
自分と仲間が持つさまざまな技術や
能力を組み合わせ、想像もしていな
かったことを成し遂げる瞬間は感動
的でした。一人ひとりの個性がキラ
キラ輝いているのがわかり、一緒に
一つのものを創り上げる喜びを感じ
ました。そこで学んだ多くの経験は
今でも自分の基礎になっています。

現在、私は養護教諭として母校で
25年以上勤務しています。今年、教職
員を対象に、グループで救命にあた
る救急法講習会を行いました。「人
命救助」という目的に向かって知恵
を出し合いながら、自分のできるこ
とを率先して行い、できない事はでき
る人に任せ、チームとして人命救助
に取り組みを試みでした。その後、救急
法講習会は発展し、生徒たちの授業
にも取り入れられ、救命の連鎖が
学校全体に広がっていきました。

私は、誰しも人とは違う、光る原
石をたくさん持っていると思います。
人と関わり合う中で、自分の特徴を
知ることができ、発見した自分の特
徴を磨き続けることで輝いてくると
信じています。そして、周囲の人と調
和することで、不可能が可能に変化
する瞬間が生まれると思っています。
コロナ禍においても、次々と新しい企
画や工夫が学校のあちらこちらでな
されていることに希望を感じ、新た
な取り組みを実行する先生方や生
徒たちに力強さと誇りを感じます。

これからも、今あることに感謝し
ながら、自分自身も新たなことにも
チャレンジして、この愛知淑徳中学・
高等学校でのかけがえのない一日
一日を大切に過ごしていきます。

